

学位被授与者氏名	田 亦彬（でん えきりん）
論文題目	『搜神記』における「死者蘇生」物語の文学的価値に関する分析 ---冥界から帰す物語に注目して
論文審査結果の要旨	『搜神記』における死者蘇生の物語を取り上げ、物語の内容や構造を的確に分析、考察しており、（後述のように足りないところはあるものの）説得力を持って論述できている点、物語にだけ注目するのではなく、当時の社会、文化、宗教的な背景との関わりについても考察した点、『搜神記』や魏晉南北朝期のことだけでなく、後世の文学への影響についても考察した点などは高く評価することができる。 その一方で、もっと注意をはらってほしかったこととして次のことが指摘できる。①先行研究の中に文学的価値について論じる文献があげられているが、その文献との違いをもっと明確に記述する必要があった。②文学的価値について論じる論文であるのだが、文学的価値について考察した第五章の分量が少なく、物足りなく感じられる。第二章、第三章のように具体的に作品をあげながらももう少し詳細に、丁寧論じてほしかった。③魏晉南北朝期には『搜神記』のほかにも志怪小説集があり、死者蘇生の物語が収録されている。『搜神記』に焦点をあてた論文ではあるのだが、他の志怪小説集についても言及があったほうが良かった。④「以上の考察を総合すると、・・・」としたところで、前段の考察の部分と後段のまとめの部分とが対応していないように見受けられる箇所があり、より丁寧な記述が望まれる。 2026年2月13日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館3-325教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。